

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	ふるさとアート工房事業	事業コード	375
------------	-------------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策体系	豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1990	終了年度	9999
	目的	一流の芸術家に触れ合うことでその感性を感じ取ってもらうとともに、その指導を受けながら作品を制作することで、作る楽しさ、面白さへの理解を深める。また、作品制作の題材として、市内に存在する文化財や文化的景観を活用することにより、ひろく鯖江の素晴らしさを実感する。				
	概要	4月19日(土)と20日(日)に郷土出身の画家である、西山松生氏を招き、「近松座」による公演 人形浄瑠璃『傾城阿波の鳴門 巡礼の段』鑑賞後、人形浄瑠璃を題材に制作し、また野外では近松の里を題材に絵画教室を開催し、西山氏から直接、指導、講評を受ける。同時に市美展出展のPRも行う。また、完成した作品は、市美展、近松まつりに出展し、その成果を発表する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、西山松生先生に講師を依頼して、無料で絵画教室を開催している。また、作品については、後日、作品展を開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	絵楽塾、作品展示の開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	絵楽塾、作品展示への受講者の参加者数		人	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	100	99	105	100	
	計算根拠			達成率(%)	125	124	131.3	125	
				ランク	A	A	A	A	
				実数値					
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	物件費							
				正規職員	0.2				
				臨時・嘱託	0.01				
				※所要時間					
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	421	428	426	357	348			
	決算額	352	320	367	277	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の間に広く参加者を募るために、無料で地元出身者の著名な絵画教室を実施するには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	講師の報償費や旅費、宿泊費等事業の実施に欠かせない経費である。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	受講者から参加料を徴収することは可能である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	作品は、毎年、文化の館やまなべの館で展示しており、H23度からは近松まつりでも展示している。会場についても、地域的なバランスに配慮し、市内の文化遺産を広く市民に知っていただけるように努めながら、人形浄瑠璃「近松座」の普及にも努力している。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	26年度の題材について、西山先生と協議の結果、継続することでさらに良い作品を制作できるとの指導を得たので、引き続き、人形浄瑠璃を題材として近松の里、立待を会場に実施したい。	平成27年度計画	27年度の題材について、西山先生と協議の結果、継続することでさらに良い作品を制作できるとの指導を得たので、引き続き、人形浄瑠璃を題材として近松の里、立待を会場に実施したい。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉					
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	<input type="text" value="その他"/>
取組選択	-	可能	可能	可能	可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	近松講座	事業コード	533
------------	------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	2051
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	近世の文豪近松門左衛門が鯖江で幼少期を過ごしたことにちなみ、その史実を市民に周知することにより、歴史に興味と理解を深めるとともに歴史資産を活用したまちづくりを推進する。				
	概要	「さばえ近松倶楽部」会員や鯖江人形浄瑠璃「近松座」による近松入門講座の開催や専門講座、出張講座を開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容	市が直接、講師を選定して、講座を開催している。近松入門講座については、さばえ近松倶楽部の会員や近松座の座員に講師をお願いして開催している。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	講座の開催回数		回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	7	14	14	14	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	講座の参加者数		人	目標値	900	900	900	900	900
				実績値	1400	2100	1242	1200	
	計算根拠			達成率(%)	155.6	233.3	138	133	
				ランク	A	A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員		0.2	
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託				0.01	
	経費区分	物件費		※所要時間					
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	1,202	1,192	722	667	687			
	決算額	523	413	722	667	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	近松門左衛門は、元禄の三大文豪の一人で、その偉大な浄瑠璃・歌舞伎作者が、 鯖江市とゆかりがあるという史実を学んで、まちづくりにつなげていきたいと思 う市民は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	「近松のまちづくり」は、市の基本的な政策の一つである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名				
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限の経費で実施している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	近松出張講座や近松バスツアーは、実費分の負担金を徴収している。入門講座 は、出前講座であるので、負担金を徴収することは、不可能である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	まちづくり交付金を活用してつくられた施設をさらに活用していく必要がある。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	近松入門講座は、「さばえ近松倶楽部」と「近松座」 とが連携して実施する。また、専門講座として、近松 ゆかりの地への解説付き出張講座を実施する。	平成27年度計画	近松入門講座は、「さばえ近松倶楽部」と「近松座」 とが連携して実施する。また、専門講座として、近松 ゆかりの地への解説付き出張講座を実施する。また、 明治大学鯖江創造プロジェクトで提案があった 「BUNRAKU革命」についても、具現化に向けて検討し ていく。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	—		可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	—	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	事業コード	583
------------	---------------	-------	-----

総合計画 体系	基本施策 体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策 体系	豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	補助金等交付			
	内容					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	構成団体の数		団体	目標値	33	34	34	35	35
				実績値	33	33	34	35	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	構成団体の構成員数		人	目標値	350	350	350	350	350
				実績値	360	360	352	352	
	計算 根拠			達成率 (%)	102.9	102.9	100.6	100.6	
				ランク	A	A	A	A	
実数値									
タイ プ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	補助費等							
事業 要 員	正規職員								
	臨時・嘱託								
	※所要時間	16							
【単位:千円】									
事業 費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	2,150	2,150	2,150	2,150	2,150			
	決算額	2,150	2,150	2,150	2,150	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	心のゆとりややすらぎを求める風潮から、市民の市民主体の文化芸術活動に対するニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民が主体となった文化振興の中心的団体である文化協議会への助成は、行政が行うべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
	事業名				
	根拠				
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、補助団体が事業を縮小しない限り困難である。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市が交付する補助金であるので、今以上に財源を確保する方法はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金であるので、所管課の指導は必要であるが、補助金を増額しても、基本的には、文化協議会自体の事業であり、成果の向上についても、協議会で考えることである。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。	平成27年度計画	鯖江市文化協議会に対して、市民が主体の文化振興事業を実施してもらうために補助金を交付する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	まなべの館管理運営事業	事業コード	1736
------------	-------------	-------	------

総合計画 体系	基本施策 体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策 体系	豊かな心を育む文化の薫る まちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し 創造する	芸術文化の振興	

PLAN (計画)	部署名	まなべの館	開始年度	1978	終了年度	9999
	目的	博物館活動（歴史、芸術、民俗等の調査、研究、収集、保管、展示等）に努め、市民の主体的な文化活動の推進や活動の場の充実を図り、文化振興に寄与する。また、これをもって豊かな社会の形成に寄与していく。				
	概要	まなべの館が有する博物館機能を通して豊かな心を育もうとする市民の日常生活をサポートし、新たな文化の創造を支援するとともに、芸術・歴史等の資料の収集、継承と活用を図る。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	市直営				
	内容	施設の管理および博物館事業など条例に記載されている事業（文化関係全般）を実施。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	創造空間事業の開催		回	目標値	8	10	10	20	20
				実績値	11	9	22	28	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	入館者数		人	目標値	15000	15000	20000	20000	20000
				実績値	32778	25871	22372	28373	
	計算 根拠			達成率 (%)	218.5	172.5	111.9	141.9	
				ランク	A	A	A	A	
実数値									
タイ プ	会計	一般会計							
	事業タイプ	その他							
	経費区分	物件費							
事業 費			正規職員	0.5					
			臨時・嘱託	1					
			※所要時間						
		【単位:千円】					補助金等名称		
区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)				
予算額	23,877	25,833	24,913	25,970	26,421				
決算額	21,328	24,044	22,655	24,954	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	多くの市民が歴史や芸術に関心を寄せるなど、文化全般への志向の高まりと欲求は多様な文化活動となっており、これを保証・補完することが事業の目的であるから、妥当である。また、来館者利用者は年々増加しており、アンケート調査においても博物館事業に関する様々な要望が寄せられている。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	鯖江市まなべの館設置および管理に関する条例第1条に明記されており、行政が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	経費を限界まで削減しており、これ以上削減の余地はないと思われる。また、増改築工事により施設が大きくなったことから、これまで以上に運営管理コストがかかる。	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	所管課		
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	事業名		

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み 利用者が利用しやすい維持管理に努め、また、常設展・企画展・共催展の充実を図り、利用者の増加を図る。	平成27年度計画 利用者が利用しやすい維持管理に努め、また、常設展・企画展・共催展の充実を図り、利用者の増加を図る。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能							〈不可能選択理由〉 <input type="checkbox"/> その他
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	芸術文化体験事業	事業コード	2078
------------	----------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 芸術文化の振興	2051
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが伝統文化や芸術・歴史、産業などを体験することにより、創造性豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	従来の伝統文化だけでなく、鯖江市がこれまで築いてきた歴史、伝統、文化、産業などの地域の資源や特性を活かした分野を加え、芸術文化を総合的に体験できる場として、従来の伝統文化体験教室から、さらにレベルアップして実施する。会場は、まなべの館で、リニューアルした館の活用を積極的に行い、地域に根付いた市民に親しまれる美術・博物館を目指すとともに市の文化振興に努める。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	体験教室の回数		日	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	参加人数		人	目標値	120	120	350	350	350
				実績値	300	350	350	350	
	計算根拠			達成率(%)	250	291.7	100	100	
				ランク	A	A	A	A	
		実数値							
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	補助費等							
事業費			正規職員	0.2					
			臨時・嘱託	0.01					
			※所要時間						
		【単位:千円】					補助金等名称		
区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)				
予算額	525	604	602	555	647				
決算額	525	402	555	459	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	日本古来の伝統文化をはじめとして、市の歴史、産業、芸術文化を継承していかなければならないという機運は十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	伝統文化等の継承のために、子供たちを対象に芸術文化を総合的に体験できる事業を開催するためには、文化振興の面からも行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名				
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	最小限のコストで実施している。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担		根拠	参加料を徴収することは可能であるが、子どもたちに気軽に芸術文化に接してもらうために、無料(材料費のみ負担)で開催することとする。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	参加者の少ない茶道は取りやめて、子どもたちが身近に感じやすい、華道教室に絞った。毎年、体験内容を検討し、保護者や子ども達のニーズにあった企画にする。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 統合	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み	5歳児、および小・中学生親子を対象に、まなべの館において、伝統文化や伝統産業等を幅広く体験できる事業を開催し、伝統文化や伝統産業の普及および継承を図る。また、子ども達の創造性、豊かな個性を育み、次世代の育成に努める。今回は大蔵流茂山忠三郎社中の本格的な狂言パフォーマンスをオープニングに行い、参加者の伝統文化への関心を深める。	平成27年度計画	5歳児、および小・中学生親子を対象に、まなべの館において、伝統文化や伝統産業等を幅広く体験できる事業を開催し、伝統文化や伝統産業の普及および継承を図る。また、子ども達の創造性、豊かな個性を育み、次世代の育成に努める。参加者の伝統文化への関心を深める。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="checkbox"/> 可能	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	可能	可能	可能	可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	ふるさと鯖江検定事業	事業コード	2549
------------	------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり		歴史文化	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	検定：年1回、今年度のテーマは、さばえ人物ものがたり（上巻）から50問と、復習問題の中から50問で合わせて100問出題する。合格者には、越前漆器で作られた認定証を贈呈する。合格者については、市の文化事業の解説等に協力していただけるような方策を検討する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市職員が問題を作成する		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	検定の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	受験者数(申込者数)		人	目標値	100	100	100	100	70
				実績値	56	73	70	70	
	計算根拠			達成率(%)	56	73	70	70	
				ランク	C	C	C	C	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
事業要員	経費区分	物件費							
	正規職員	0.2							
	臨時・嘱託	0.01							
	※所要時間								
事業費	【単位：千円】					補助金等名称			
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)			
	予算額	462	252	415	192	435			
	決算額	116	252	415	192	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ご当地検定ブームもあり、ふるさと鯖江について学び、その成果を試してみたい との市民ニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	正確な問題を作成し、検定を通して、正しい知識を身につけてもらい、その知識 の活用を図るためには、行政の関与が必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	考福学検定	
		根拠	鯖江市だけに関わる問題を作成し、検定を実施する必要がある。		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	認定書の単価を下げる。		
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	検定料を徴収する。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	広報活動を積極的に行う。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み	もっと「ふるさとさばえ」を知っていただく方を広く 浅く鯖江全域に浸透させるために、身近な鯖江の話題 をテーマに出題する。H26年度のテーマは、さばえ人 物ものがたり(下巻)から50問と、復習問題の中から 50問で合わせて100問出題する。 ★H26年度も継続して、文化課のホームページや、広 報さばえ2月号に掲載して、受験者を募集したい。問 題集も引き続き作成してホームページからプリントア ウトできるようにしたい。丹南FMやFBCラジオ、 丹南ケーブルテレビに出演して、広く受験者を募集し	平成27年度計画	もっと「ふるさとさばえ」を知っていただく方を広く 浅く鯖江全域に浸透させるために、身近な鯖江の話題 をテーマに出題する。 ★H27年度も継続して、文化課のホームページや、広 報さばえ2月号に掲載して、受験者を募集したい。問 題集も引き続き作成してホームページからプリントア ウトできるようにしたい。丹南FMやFBCラジオ、 丹南ケーブルテレビに出演して、広く受験者を募集し たい。ボランティアガイドの会など各種団体にも積極 的に受験依頼を行いたい。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	-		不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	鯖江市美術展開催事業	事業コード 2556
------------	------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 芸術文化の振興	2051
	重点施策体系	重点施策 「人の増えるまち」づくり	分類(大) 健康と長寿の推進	分類(小) 生涯学習		833

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、嚮陽会館、ギャラリー新の3会場。会期は5日間。運営にあたっては、アートスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気軽にアート展」も同時開催する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市民が主体となった実行委員会で実施する。		

DO(実施)	活動指標									
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
	作品の応募点数		点	目標値	500	500	500	500	500	
				実績値	480	450	450	450		
	成果指標									
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
	会場への来場者数		人	目標値	15000	15000	15000	15000	15000	
				実績値	16500	18514	13300	13500		
	計算根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H25から開催日を12月に変更。			達成率(%)	110	123.4	88.7	90	
					ランク	A	A	B	B	
実数値										
タイプ	会計	一般会計								
	事業タイプ	単独事業								
	経費区分	物件費								
事業費			正規職員		0.5					
			臨時・嘱託		0.1					
			※所要時間							
						【単位:千円】				
区分		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称			
予算額		2,407	2,511	2,492	2,362	2,000				
決算額		2,407	2,050	2,383	2,071	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	余暇を利用して、美術作品を制作したり、その作品を出展したいとの市民ニーズ は高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市全体の美術文化の向上を図ることが目的であるので、行政の関与は必要であ る。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	県美展	
		根拠	市美展は、広く、気軽に作品を募集するので、県美展との統合は不可能である。		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	根拠				
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	報償費の占める割合が高いので、コストを削減する余地はない。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	出展料の増額が考えられるが、幅広く募集すると趣旨からすると困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	将来的には会場を一つにするなど、市民のニーズにあった関連事業等を同時開催 したい。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	7部門を3会場に分けて開催する。市民の意見をききながら、より市民に親しまれる美術展を目指す。今回も3会場すべてを鑑賞してもらうための3スポットツアーを行う。	平成27年度計画	7部門を3会場に分けて開催する。市民の意見をききながら、より市民に親しまれる美術展を目指す。開催時期の検討を行う。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	-		不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	まなべの館企画展開催事業	事業コード	2629
------------	--------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり		歴史文化	

PLAN(計画)	部署名	まなべの館	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う特別展覧会事業をとおり、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の歴史・芸術文化等の向上を図ることを目的とする。また、まなべの館(旧資料館)の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題などから、毎年異なるテーマのもと特別展覧会を開催する。企画展開催事業を実施する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	企画展の開催については、まなべの館としての方向性、開催方針があるので、市直営とする。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	企画展の開催		回	目標値		3	3	4	3
				実績値		5	4	4	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	来場者数		人	目標値		5000	5000	5000	5000
				実績値		7741	12282	15639	
	計算根拠			達成率(%)		154.8	245.6	312.8	
				ランク		A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.5				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.5				
	経費区分	物件費		※所要時間					
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	0	5,000	5,000	5,000	5,000			
	決算額	0	5,000	4,823	4,234	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	地域芸術文化資源や現代アート等を鑑賞したいとの市民のニーズに十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	企画展開催のためには、予算に裏づけされた作家や美術館との調整が必要不可欠 であり、そのようなことから行政が実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競争している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県立美術館等	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	企画展・特別展	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	鯖江市と関わりのある作家たちを重点的に紹介することは、他の美術館等では不 可能である。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	展覧会事業を実施するうえで最低限の予算である。これ以上の予算削減は質の低 下につながり、来館者数の減少を招く。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	企画展を鑑賞する人から、入館料を徴収する。しかし、多くの人に見てもらおうこ とを基本に考えると、なかなか困難である。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	現状の予算ではなかなか難しい。ただし、来館者の約半数は市外からと思われる が、残りの半数は鯖江市民なので、地元のリピーターを増やす工夫の構築で、来 館者数は増やせると考える。

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み 毎年異なるテーマを考え、特別展覧会を開催する。まなべの館リニューアルオープン5周年記念事業として館のPR、利用拡大につなげる。	平成27年度計画 毎年異なるテーマを考え、特別展覧会を開催する。まなべの館のPR、利用拡大につなげる。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>							〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	まなべ学講座	事業コード	2630
------------	--------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2051
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	芸術文化の振興	
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり		歴史文化	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江藩主「間部」にちなみ、鯖江のことをいろいろな角度で学び、郷土に興味と誇りを持ってもらう。				
	概要	リニューアルされた「まなべの館」において、鯖江藩主間部家の名称にちなみ、「まなべ学」と題し、ふるさと鯖江に関する歴史・芸術・産業・自然等のさまざまな分野を代表する講師を招き、市民講座を開催する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	講師の選定や会場借上げ等、すべての事務を委託して講座を開催している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	講座開催数		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	2	4	6	6	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	参加者数		人	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	210	200	250	250	
	計算根拠			達成率(%)	105	100	125	125	
				ランク	A	A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	物件費							
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	386	400	656	656	656			
	決算額	359	400	656	656	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江の基礎となった鯖江藩の歴史に対する関心度は高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	歴史に対する正確な認識、正確な情報を住民に提供することは、行政が実施すべ き事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	鯖江公民館	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
			事業名	殿様学習会	
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	殿様学習会は、借陰小学校と進徳小学校の6年生を対象にした事業であるので、 統廃合は不可能である。	
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>			根拠	講座に参加する方から参加料を徴収することが考えられるが、広く、参加を求め ることを考慮すると現実的には困難である。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江地区のまちづくり団体と協働して事業を実施する。			

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	引き続き、市の間部詮勝プロジェクト事業との連携を図る。	平成27年度計画	市の間部詮勝プロジェクト事業は平成26年度で終了するが、平成27年度以降は民間の視点で引き続き郷土の歴史を学習していく。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	—	可能	可能	可能	可能	可能		
実施状況	—	実施	実施	実施	実施			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	吹奏楽フェスティバル in SABAE開催事業	事業コード 3017
------------	-------------------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 芸術文化の振興	2051
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	秘書企画課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	吹奏楽のまち”さばえ”をPRし、次世代の子どもたちに夢を与え育てるため、音楽フェスタを開催する。鯖江市内小中学校、丹南地区の高校・吹奏楽団は、福井県代表として、北陸、中部地区大会等でも好成績を収め、全国大会にも出場している。丹南地区の小中高校・吹奏楽団をホスト、鯖江市出身のアーティストをゲストとして、地域住民とともに芸術文化活動の交流を通じ、社会全体において、子どもたちが積極的に文化芸術活動を行う意欲を高め生涯にわたって文化活動に参加する環境を醸成する。				
	概要	本フェスティバルは二部構成とし、二日間にて開催する。一日目は「吹奏楽スペシャルコンサート」と称し、全国トップクラスの吹奏楽部を招き演奏会や合同練習等を通して、子どもたちの更なるレベルの向上を図る。二日目は「吹奏楽ライブ!」と称し、丹南地区の小中高校吹奏楽部、鯖江市出身のアーティストとのコラボレーションによるライブを行い、地域住民とともに子どもたちが地元出身のアーティストとの交流を図る。また、楽器体験コーナーを設置し、日頃、楽器に触れることが少ない地域住民や子どもたちが体験をすることにより、吹奏楽人口の底辺拡大を図る。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	実行委員会に対して負担金を交付している。				

DO(実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
		実行委員会の開催	回	目標値			3	3	3	
				実績値			3	4		
		成果指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
		来場者数	人	目標値			2000	2500	2500	
				実績値			2000	2530		
		計算根拠	スペシャルコンサート 1000人 ライブ1500人	達成率(%)			100	101.2		
				ランク			A	A		
	実数値									
	会計	一般会計		事業要員		正規職員 0.1				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託						
	経費区分	物件費		※所要時間						
		【単位:千円】					補助金等名称			
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	地域の芸術環境づくり助成事業交付金(自治総合センター)			
	予算額			2,250	2,250	2,250				
	決算額			750	2,250	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	地域住民に芸術文化に触れあう機会を醸成するとともに、子どもたちの技術力向上を図る。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠		
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ある	主体	丹南地区吹奏楽連盟	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
			事業名	丹南地区吹奏楽祭	
			根拠	丹南地区吹奏楽祭は生徒による演奏がメインだが、本フェスは吹奏楽常連校やプロアーティストとのコラボがメインであるため。	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		事業名			
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	負担金以外に協賛金、チケット収入で運営しており、今以上の削減は難しい。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	助成事業補助金を活用しているが、入場チケットの収入を増やす手段はある。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	出演料の課題もあるが、著名なアーティストを招聘して、来場者の増加を図る。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="内容拡大"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	実行委員会と協議しながら、市民の誰もが気軽に音楽と触れ合うことができる吹奏楽のまちづくりを進める。なお、今年度は市制60周年記念として三部構成として規模を拡大する。	平成27年度計画	実行委員会を組織しながら、市民の誰もが音楽に気軽に触れ合える吹奏楽のまちづくりを進める。昨年に引き続き、スペシャルコンサートと吹奏楽ライブ、有名アーティストによるコンサートの3部構成で企画していく。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	-		不可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	近松のまち鯖江創出事業	事業コード 3080
------------	-------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 芸術文化の振興	2051
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了したが、その中で、継続性が必要なものについて予算付けし、さらなる「近松のまちさばえ」を情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演委託 「立待月観月の夕べ」開催委託 				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、近松の里づくり事業推進会議に委託して開催する。子ども文楽交流は、大阪府和泉市いぶき野小学校の子ども文楽クラブを立待小学校へ招待して実施する。				

DO(実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		近松座による出前公演の回数	回	目標値			8	8	8
				実績値			7	8	
	成果指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数		目標値			8500	8500	8500
				実績値			9600	10000	
		計算根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。		達成率(%)		112.9	117.6	
				ランク			A	A	
			実数値						
	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0.1			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間				
		【単位:千円】					補助金等名称		
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)			
	予算額			2,000	2,000	1,700			
	決算額			1,997	1,723	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ブランド力の高い近松門左衛門を情報発信して、「鯖江の近松」としてまちづくりを推進していくニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市が一体となって近松のまちづくりを推進していく必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最小限の額で実施している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	財団等の助成金を活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	限られた財団等の助成金を活用した事業実施のため困難。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み	鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR公演委託、子ども文楽交流、「立待月観月の夕べ」開催委託の3つの事業を柱として、さらなる近松のまちを全国発信する。	平成27年度計画	鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR公演委託、立待月観月の夕べ」開催委託を柱として、さらなる近松のまちを全国発信する。「さばえ近松文学賞～恋話（KOIBANA）～」についても、地元を支援しながら実施する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="checkbox"/> 不可能	<不可能選択理由> 一者随契等の特定の相手先への委託事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	文化財解説看板設置事業	事業コード	571
------------	-------------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	文化財がもっている歴史的価値やいわれを解説することで、市内に点在する文化財に対する市民の理解を深め、その保存と活用を推進する。				
	概要	貴重な文化財を多くの市民に知ってもらい、保存等についての理解を深めるために、10カ年の設置計画を作成し、毎年、4件をめどに、解説看板を設置する。平成26年4月現在、指定・登録件数は180件(解説板設置済み67件、未設置113件)で、未設置のうち解説板必要件数は42件、不必要件数(無人の神社など防犯上好ましくない・管理者の承諾の得られない物件)は71件である。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市で指定文化財や市内に存在する文化遺産等から設置対象を選択し、説明看板を設置する。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	指定文化財および文化遺産解説看板設置基数		基	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4	2	
	計算根拠			達成率(%)	100	100	100	50	
				ランク	A	A	A	C	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.25		
	事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託	0		
	経費区分	普通建設事業費				※所要時間			
事業費	【単位:千円】						補助金等名称		
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)			
	予算額	1,176	1,176	1,176	1,176	1,176			
	決算額	1,176	1,176	1,176	532	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市内に存在する文化財を詳しく知りたいと思っている人は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民や観光客に、正しく文化財の解説を周知する必要があるので、行政が関与し なければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	各地区のまちづくり事業	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名		
根拠		鯖江市教育委員会では、統一したデザインで看板を設置している。			
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	統一した決まった様式・デザインであるので、コスト削減の余地はほとんどな い。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="補助金等の活用"/>	根拠	まちづくり交付金や市町振興プロジェクト事業補助金を活用する方法はある。 (近松等の偉人関係に限定)	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	設置看板の数を増やす。(平成21年度から4基設置予定)		

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み 指定登録文化財は今後も増やしていく方向で調査を進めているので、看板設置事業も維持していくことが必要である。	平成27年度計画 指定登録文化財は今後も増やしていく方向で調査を進めているので、看板設置事業も維持していくことが必要である。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22(2010)</th> <th>H23(2011)</th> <th>H24(2012)</th> <th>H25(2013)</th> <th>H26(2014)</th> <th>H27(2015)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組選択</td> <td>-</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>-</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	
年度		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)															
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能																
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施																	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	指定文化財管理事業	事業コード	586
------------	-----------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	指定文化財を良好な状態に維持管理するとともにその活用を促進する。				
	概要	「旧瓜生家住宅」、「史跡玉山古墳群」の管理諸経費および「兜山古墳」、「三峯城跡」、「今北山・磯部・弁財天古墳群」の管理費				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	管理については、シルバー人材へ委託。				

DO(実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
		管理施設数	ヶ所	目標値	2	2	2	2	2	
				実績値	2	2	2	2		
		成果指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
		瓜生家住宅の入館人数	人	目標値	1000	1000	1000	1000	1000	
				実績値	1195	1100	1086	1120		
		計算根拠		達成率(%)	120	110	109	112		
				ランク	A	A	A	A		
			実数値							
	会計	一般会計		事業要員		正規職員 0.25				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託						
	経費区分	物件費		※所要時間						
	【単位:千円】					補助金等名称				
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)				
	予算額	3,465	3,710	4,320	3,942	4,022				
	決算額	3,465	3,710	4,320	3,942	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	後世に残していくために、適切な指定文化財の管理は、市民の文化意識の高揚のためにも必要であり、また、まちづくりの資源としての文化財の保存は、市民の要望も強い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	指定文化財は、市が指定するものであって、その適切な管理には、行政の関与が必要である。指定文化財	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠	市所有の文化財は市が管理する	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名				
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	シルバー人材を活用するなどしているため、コストを削減する余地はない。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	旧瓜生家住宅については、入館料の徴収が考えられるが、多くの人が、文化財を訪れて、理解を深めるとの面からは困難である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	旧瓜生家住宅の開館日は、週4日であるが、開館日を増加すれば、入館者は増加すると思われるが、管理委託経費も増加する。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み	市管理の文化財については、例年どおり市で管理する。また、民間所有の古墳群など、地元で管理団体が組織されているものについては、管理報償費を執行する。	平成27年度計画	市管理の文化財については、例年どおり市で管理する。また、民間所有の古墳群など、地元で管理団体が組織されているものについては、管理報償費を執行する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 一者随契等の特定の相手先への委託事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	事業コード	606
------------	--------------	-------	-----

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2052
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	土地公有化(民家1,491㎡、神社地1,974㎡)、物件移転(民家2軒)、環境整備(古墳の復元、園路舗装、解説サイン設置、トイレ設置) ※現段階の予定は、頂上の八幡神社をそのまま残し法面を買収するということが計画を立ててるが、老朽化した神社移転の話が持ち上がり、現在協議中であるので、平成25年度から民家の移転と用地買収を先行して実施することとした。				
	法令根拠	文化財保護法				
実施形態	現在	市直営				
	内容	国庫補助事業として市が史跡指定地を用地買収する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	民有地公有化面積		㎡	目標値	-	-	-	510	1244
				実績値	-	-	-	510	
	計算根拠	公有化は平成25年度以降で事業が開始される(平成24年度は事前の交渉や移転補償費の算定作業であるため、公有化面積としては数値は上がらない)			達成率(%)	-	-	-	100
				ランク	-	-	-	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	補助(国)事業							
	経費区分	普通建設事業費							
事業要員	正規職員	0.01							
	臨時・嘱託								
	※所要時間								
事業費	【単位:千円】						補助金等名称		
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	国宝重要文化財等保存修理国庫補助		
	予算額	0	0	900	37,096	41,341			
決算額	0	0	900	37,096	-				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	兜山古墳は、北陸地方最大級の円墳であり、国指定文化財でもあるので、その整備・保存・活用については、地元のみならず、十分に市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	国庫補助事業として実施するため、事業は行政が実施しなければならない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	整備内容を見直すことにより、コストを削減することは可能である。		
		根拠	国や県の補助金を活用しており、今以上に財源を確保する方法はない。	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	
					【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある
根拠	早急に、地元と公有化の協議を整える必要がある。				

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	平成26年度においても残り1軒の民家移転を実施する。	平成27年度計画	史跡公有化のうち民家移転については終了するが、八幡神社の移転協議が継続協議となっているため、引き続き国・県・地元と協議をおこない事業を推進していく。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	事業コード	2080
------------	---------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2052
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	文化財建造物を舞台としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財建造物の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財等をライトアップし、市民が直接、目に触れる機会を提供する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	観客者数		人	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	300	300	300	200	
	計算根拠			達成率(%)	150	150	150	100	
				ランク	A	A	A	A	

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.25
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	

事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称
	予算額	846	1,230	1,230	1,230	1,230	
	決算額	846	1,230	1,230	1,230	-	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	文化財に対する市民の関心は、年々高まっており、市民が文化財に直接に触れる 機会の提供が必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	文化財は、まちづくりの重要な素材であり、文化財の保存のほか、まちづくりの 面からも行政の関与は必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	多くの市民に参加してもらうような企画を立案しなければならないので、出演 者・音響・照明の面からもコスト削減は困難である。		
		根拠	地域と一体となつたまちづくりの観点から、地域のまちづくり団体等に、経費の 一部を負担してもらう。		
		根拠	開催回数を増やしたり、著名な出演者に依頼すれば、観客数は増えると思われ るが、経費の面で問題がある。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠			

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み	提案型市民主役事業として委託する。	平成27年度計画	提案型市民主役事業として委託する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	-		可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	-	実施	実施	実施	実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	国登録文化財保存促進事業	事業コード	2309
------------	--------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2052
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		723
		豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	文化・芸術	歴史・伝統・文化を伝承し創造する	文化財の保護・活用	
		「鯖江ブランド」づくり	郷土の誇りを未来につなぐまちづくり		歴史文化	

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	個性ある街並み景観の形成に寄与する文化財建造物の保存を確実なものとするために、調査を実施し、国登録有形文化財に登録することを目的とする。				
	概要	国登録文化財の修理事業に対する補助を行う。□補助率3/4、上限4,500千円(市1/2、国1/4、自己負担1/4)				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営	市が修理に対する補助金をする。		
	内容					

DO(実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		国登録文化財への申請件数	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	5	2	2	
	成果指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		補助金交付件数	件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	1	-	2	
		計算根拠		達成率(%)	-	100	-	200	
				ランク	-	A	-	A	
			実数値						
	会計	一般会計							
	事業タイプ	補助(県)事業							
	経費区分	普通建設事業費							
	事業要員	正規職員	0.1						
		臨時・嘱託							
		※所要時間							
	【単位:千円】								
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	0	2,780	0	8,895	0	福井の歴史的建造物保存促進事業		
	決算額	0	2,780	0	8,895	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	古建築を修理して保存していきたいが、修理費が高くつくので、なかなかできないとの多くの要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	文化的景観や街並みの保存として、市が補助金を交付するので、行政が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠	住宅として使用されている建物を文化財として保存していくためには必要な事業である		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	補助金としての性格上、コスト削減の余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の補助金を活用している。(1/4)		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	補助率や限度額のアップが考えられるが、市内には、多くの国登録文化財候補が存在すると思われ、財政的に困難である。		

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成26年度取組み 文化財建造物の修理事業は今後も発生する可能性が高いと見込まれるので維持していく。	平成27年度計画 文化財建造物の修理事業は今後も発生する可能性が高いと見込まれるので維持していく。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能							〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	今北山・磯部・弁財天古墳群調査事業	事業コード	2427
------------	-------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	2017
	目的	国指定文化財の上位指定を受けるために、地形測量・発掘調査を実施し、その概要を明らかにする。				
	概要	市指定文化財である「今北山・磯部・弁財天古墳群」について、国指定史跡への上位指定を目指し、遺跡の内容把握のための調査(10ヵ年計画H20～H29年度)を実施する。今年度はグリッド測量、発掘調査3基、資料整理作業を予定。				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営	発掘調査担当職員が、発掘作業員の雇用、作業の指導を行い、発掘調査に必要な各種契約事務を行っている。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	事業全体進捗率(発掘面積・地形測量・地元説明会の開催、調査報告書の刊行)		%	目標値	30	40	50	60	70
				実績値	48	40	50	60	
	計算根拠	平成29年度末が事業の最終年度であることから、平成29年度段階の全体進捗率を100とした。			達成率(%)	96	100	100	100
				ランク	A	A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.5			
	事業タイプ	補助(国)事業			臨時・嘱託	0.5			
	経費区分	物件費			※所要時間				
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	5,420	6,830	7,525	8,260	7,650	国宝重要文化財等保存整備費補助金(国庫補助金)		
	決算額	5,420	6,830	7,525	8,260	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	今北山・磯部・弁財天古墳群は、丹南地方最大の前方後円墳を有しており、その歴史的価値は高い。今後は、国指定の上位指定を目指し、市の宝として保存・活用する方策を検討していく必要がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市指定文化財であり、調査・整備には、行政が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	国の上位指定に向けて、必要事業を行っている。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国の補助対象事業として実施している。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	国の上位指定に向けて必要な事業を行っている。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	
	平成26年度取組み	今北山古墳群の調査は平成29年度まで継続する計画であるので、このまま継続して実施していく。なお、事業規模については「維持」と想定しているが、調査成果により「拡大」となる可能性もある。		平成27年度計画	今北山古墳群の調査は平成29年度まで継続する計画であるので、このまま継続して実施していく。なお、事業規模については「維持」と想定しているが、調査成果により「拡大」となる可能性もある。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 <input type="checkbox"/> その他
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	市内重要遺跡調査事業	事業コード 2727
------------	------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	2019
	目的	市内に存在する重要な遺跡(指定文化財候補)について、その概要を把握するための調査を実施し、新たな指定文化財の発掘につなげる。				
	概要	全体で古墳群・城跡など、市内に点在する10遺跡程度を予定しており、毎年、1~2遺跡程度を基礎調査として測量を実施する。必要に応じて発掘調査を実施する。H26年度は「河和田古墳群」を測量調査する。				
	法令根拠	文化財保護法				
	実施形態	現在	市直営	市が市内に存在する貴重な遺跡の中から、1~2箇所を選択して、測量の基礎調査を実施する。平成26年度は河和田古墳群の測量調査を実施する。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	事業実施箇所		箇所	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	計算根拠	実施箇所/実施予定箇所		達成率(%)	100	100	100	100	
				ランク	A	A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員 0.1			
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託					
	経費区分	物件費		※所要時間					
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	2,000	3,000	1,295	3,560	3,456			
	決算額	1,050	2,541	1,102	3,560	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	住民と一体となった地域の特色あるまちづくりには、文化的な要素が不可欠であり、特に地域に存在する文化財は、まちづくりの貴重な素材であり、地域住民のニーズも十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	この事業は、基礎調査を実施して、市指定文化財への指定をめざすものであり、文化財保護の観点から行政が実施する事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠	指定文化財を増やす方針で施策が進められているので、そのための基礎資料を得るための本事業は必要である	
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	文化財指定に必要なだけの測量を実施するものであるため、コストを削減する余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	基礎調査の測量段階では、補助金等の活用はできないが、発掘調査段階に入ると文化庁の補助金が活用できる。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	基礎調査を終了し、市指定文化財に指定する段階になると、地域特有のまちづくりの素材として活用でき、地域住民のまちづくりに対する意識の向上につながる。		
		根拠			

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み 指定文化財を増やすためには調査が必要なため、指定に値するかどうかの調査を行う。	平成27年度計画 指定文化財を増やすためには調査が必要なため、指定に値するかどうかの調査を行う。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>							〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	間部詮勝プロジェクト	事業コード
		2910

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	2014
	目的	第7代鯖江藩主であり幕末動乱期の老中として国政に当たった間部詮勝の功績や歴史的評価について、正しく検証し、市内外へアピールする。平成23～26年度の4ヶ年計画で実施。それぞれ年度ごとにテーマを設定して、市民参加の学習会をベースに記念講演・シンポジウム・啓発書籍の刊行・映像資料の作成・特別展の開催などを実施していく。(年度テーマ → 平成23年度「天保の改革と詮勝」・平成24年度「鯖江の藩政改革」・平成25年度「開国と幕末動乱」・平成26年度「気概の人 間部詮勝」)				
	概要	①「さばえ幕末明治維新を学ぶ会」を立ち上げ、学習会の開催し、間部詮勝の即席をたどる(4年間、月1回)、②講演会・シンポジウムの開催(4年間、基調講演3本、シンポジウム1回)、③啓発書籍の刊行(一般向けガイドブック・解説書・マンガ人物史・シンポジウム記録集、④映像ソフトの制作(まなべの館展示ソフトの更新)、⑤テレビ番組の制作(半生を描いたドラマ・人物史をテーマにした企画番組)、⑥銅像の制作、⑦ウォーキングラリーの開催(詮勝・鯖江藩の足跡をたどるイベント)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	学習会の組織・運営・連絡等を市職員が行う。シンポジウム・講演会等の実施も市職員が行う。		

DO(実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	学習会の開催回数			回	目標値		12	12	12	12
					実績値		18	14	14	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	シンポジウム参加人数			人	目標値		100	100	100	100
					実績値		200	150	150	
	計算根拠	企画の趣旨に触れた人数を指標とする。			達成率(%)		200	150	150	
					ランク		A	A	A	
				実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	1				
	事業タイプ	補助(国)事業			臨時・嘱託	1				
	経費区分	物件費			※所要時間					
					【単位:千円】					
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称			
	予算額	0	300	500	5,600	15,800	都市再生整備計画事業補助金			
	決算額	0	300	500	5,600	—				

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江藩主間部家および老中「間部詮勝」を顕彰すべきとの声は以前よりあった。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	郷土に誇りを持てる子供たちを育てるといった教育的観点からも郷土の偉人顕彰事業は行政は実施すべき。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠	平成26年度までの継続事業であるので廃止は不可能。	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	現在は市民参加学習会と講演会を主体とした事業内容であり、その講師も市職員や市民（無償）が中心で、これ以上削減する余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国、県、財団法人等の補助申請を行っているが、現時点では補助対象事業としての認定が得られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	学習会や講演会で得られた成果を、書籍や映像資料として広く配布していけば、その成果は目に見える形となって流布していく。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="内容拡大"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="終了"/>
	平成26年度取組み	平成26年度は間部詮勝生誕210周年、藩主就任200周年にあたる年で、プロジェクト最終年度となる。このため、「都市再生整備事業」を活用しまなべの館の常設展示室「まなべの部屋」の展示替えや企画展示などを行い集大成とする。	平成27年度計画	平成26年度にて事業終了。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉					
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	<input type="text" value="その他"/>
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	考古学講座 (明治大学連携事業)	事業コード 3081
------------	------------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年11月24日に締結した「鯖江市・明治大学連携協定」に基づき、明治大学の知的資産・人材を鯖江市の文化・学術の研究・交流に活用する。具体的には、現在、発掘調査を実施している今北山・磯部・弁財天古墳群をはじめとする歴史遺産全般の保存・活用について広く市民の理解を深めるために一般向けの講演会開催を計画しており、これを明治大学に委託する。				
	概要	講演会の開催 (2回) ※明治大学事務局と調整中であるが、これまで未実施の時代・分野について、それぞれ専門の研究者に講演を依頼する予定。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託 (全部)				
内容	明治大学社会連携事務室に委託し、講演会を開催する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	講演会開催数		回	目標値			2	2	2
				実績値			2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	講演会参加者数		人	目標値			60	60	60
				実績値			100	100	
	計算根拠	講演会参加者数 30名/回		達成率(%)			166	166	
				ランク			A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員	0.08		
	事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託	0.08		
	経費区分	物件費				※所要時間			
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額			300	300	300			
	決算額			300	300	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	発掘調査現地説明会の開催を呼びかけたところ100名以上の参加があったことから、ニーズは十分あるものと判断できる。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	明治大学連携事業については、市が明治大学と協定を締結しているものであり、また、発掘調査事業についても行政が実施し内容を把握していることから行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	今北山古墳群調査事業は平成29年まで継続し、その後も用地買収・整備工事へと長期継続する。よって、地域住民の理解が必須となるため、この事業は継続して実施する必要がある。	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			所管課		
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	講座の回数を減らすことで若干のコスト削減は可能と考えられるが、契約や教授陣との摺り合わせといった基本的事務や遺跡の事前視察・研究をおこなう必要性があるため大幅な削減は困難と考えられる。	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
		根拠			
		根拠			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	市が明治大学と協定を締結している特定の事業であり、財源を広く確保することは困難と考えられる。	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
		根拠			
有効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	予算次第であるが、講座の回数を増やせば集客効果は高くなるものと考えられる。	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
		根拠			

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成28年度取組み	今北山古墳群調査事業は平成29年度まで継続し、その後も用地買収・整備工事へと継続していく。よって、事業の円滑な推進のためには地域住民の理解が必須であるため、今後もこの事業は継続することが重要である。	平成29年度計画	今北山古墳群調査事業は平成29年度まで継続し、その後も用地買収・整備工事へと継続していく。よって、事業の円滑な推進のためには地域住民をはじめとする市民の理解が必須であるため、今後もこの事業は継続することが重要である。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="checkbox"/> 不可能	<不可能選択理由> 一者随契等の特定の相手先への委託事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	市内文化財悉皆調査事業	事業コード 3082
------------	-------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり	属性 文化・芸術	基本施策 歴史・伝統・文化を伝承し創造する	実施施策 文化財の保護・活用	2052
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 歴史文化		723

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	指定文化財を増やし、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査を実施する。 ※平成19～21年度に実施した建造物調査事業（福井工大委託）も同趣の事業である				
	概要	①市内に存在する石碑（記念碑・墓碑・顕彰費など）をすべてリストアップし、所在地の確認・写真撮影・拓本の作成・碑文の判読などを実施する。また、調査成果は「報告書」として刊行し、資料化する。 ②平成22年度に現地調査を実施した絵馬・俳句額等調査の調査報告書を刊行し、資料化する。※一般にも販売予定				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	市職員（学芸員）が直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	悉皆調査の回数		回	目標値		20	10	10	10
				実績値		20	10	20	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	調査した文化財の数		件	目標値		400	30	50	50
				実績値		500	90	50	
	計算根拠			達成率(%)		125	300	100	
				ランク		A	A	A	
				実数値					
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	物件費							
				正規職員	0.17				
				臨時・嘱託	0.67				
				※所要時間					
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額			1,000	300	50			
	決算額			1,000	300	—			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	指定文化財の候補物件の特定を行うという性格の事業であり、市長の指定文化財を増やすというマニフェスト実現の一翼を担うものであるため、ニーズはあるものと判断される。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	悉皆調査は学芸員が直接訪問し実施するものであり、専門的な知識・技術をもつものは市内では学芸員のみである。よって行政が実施すべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠	指定文化財を増やすという施策を推進するためには、この事業は必要である		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	専門研究者への謝礼、写真撮影委託等がほとんどであり、その他は市職員の業務として実施している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市町村内における文化財の悉皆調査についての補助メニューは知られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	担当する職員数を増やせば調査期間が短縮できるので、その成果を短期間のうちに市民に公開できる。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	市東部の無形民俗文化財「おこない神事」について悉皆調査を実施する。	平成27年度計画	現在予定されている文化財としては、①浄土真宗系寺院に伝わっている古文書資料、②幕末～明治における織物関係資料などがあり、引き続き悉皆調査を実施する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="法令等実施事務のため"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		